

もりおか女性センターフェスティバル2020

第1部：講演

オンライン
開催

「誰も歩いたことのない道を」

講師：谷生 俊美さん

(日本テレビ放送網株式会社 事業局映画事業部 プロデューサー)
※講師プロフィールは裏面をご覧ください。



第2部：パネルディスカッション

もりおか女性センター開設20周年

「映画から考える女性の人権」

パネリスト 谷生 俊美さん

平賀 圭子 (NPO 法人参画プランニング・いわて理事長)

コーディネーター 植田 真弘 (もりおか女性センター長)

日時：10月9日(金) 13:00～15:15

動画配信及び展示は15日(木)16:00迄

参加費：無料

申込み：9月9日(水)10時より

※詳細は裏面をご覧ください。

～常設展示～

コロナ禍の今だから伝えたい！盛岡のひとり親 リアルボイス展示

盛岡市のひとり親にアンケートをとり、コロナ禍にかかえるリアルな声を展示します。

展示期間：10月9日(金)～15日(木)

【お問い合わせ先】もりおか女性センター

〒020-0871 盛岡市中ノ橋通1-1-10 プラザおでって5F ☎019-604-3303

URL : <http://mjc.sankaku-npo.jp>



【主催】盛岡市、もりおか女性センター

【共催】もりおか女性の会

【後援】岩手県、朝日新聞盛岡総局、読売新聞盛岡支局、毎日新聞盛岡支局、河北新報社、岩手日報社、盛岡タイムス社、NHK盛岡放送局、IBC岩手放送、テレビ岩手、めんこいテレビ、岩手朝日テレビ、ラヂオ・もりおか、情報紙ゆうゆう、独立行政法人国際協力機構東北センター、公益財団法人盛岡国際交流協会、盛岡市肴町商店街振興組合

谷生俊美さんのプロフィール

日本テレビ放送網株式会社 事業局映画事業部 プロデューサー
1973年京都生まれ 神戸育ち。東京外国語大学卒業後、博士前期課程を修了し、2000年4月日本テレビに入社。報道記者として社会部、外報部(現・国際部)カイロ支局長を歴任。2012年6月編成局に異動し、「金曜ロードSHOW!」プロデューサーとして勤務。トランスジェンダー女性であることを明かす。2015年、テレビメディアとソーシャルメディアの複合的活用を表彰する「ソーシャルテレビ・アワード2015」で「金曜ロードSHOW!」は「日経デジタルマーケティング賞」を受賞するなど、老舗映画枠に新たな価値を創造することに成功した。2018年10月から「news zero」にゲストコメンテーターとして出演。同12月、事業局映画事業部に異動し、映画プロデューサーとして映画製作にあたる業務を開始し、現在に至る。

この講演&パネルディスカッションは、

① **オンライン視聴** または、 ② **会場内視聴** をお選びいただけます。

※新型コロナウイルスの影響により、やむなくオンラインのみの開催となる可能性があります。

対象

どなたでも

定員

①100名・②25名

会場

②のみ プラザおでって5F もりおか女性センター交流コーナー

申込方法

9月9日(水) 10時より受付開始

電話 019-604-3303 または、専用フォームにて申込

👉①オンライン視聴の方の受講方法

ステップ1 もりおか女性センターに申込

ステップ2 開催1週間前に専用URLをメールで受け取る

ステップ3 開催期間中 [10/9(金) 13:00~10/15(木) 16:00] に
専用URLをクリックして受講をスタート



10月9日★会場内視聴者限定 映画上映

「マララ-教育を求めて闘う少女」 イギリス・2014年作



時間: 14:45~15:15 (30分間)

対象: 会場内視聴者のみ

定員: 25名

会場: もりおか女性センター交流コーナー

もりおか女性センターは、SDGsの実現に向けた活動に参画しています。

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

2030年に向けて
世界が合意した
「持続可能な開発目標」です

5 ジェンダー平等を
実現しよう



作品介绍: 2012年10月、パキスタンの少女マララ・ユスフザイはタリバンに銃撃された。イスラム社会における女子教育の必要性を訴えて活動していた彼女は、タリバンの標的となっていたのだ。マララは危険な目に遭いながらもなぜ世界に訴え続けるのだろうか? 教育を受ける権利とは? マララ自らの言葉で語るインタビューや、今までの活動の映像から、彼女の信念と素顔を見る。